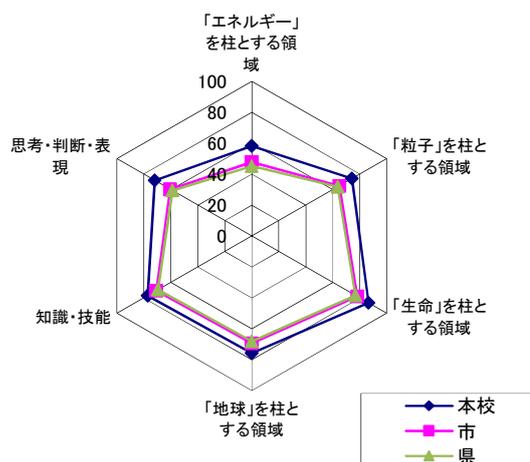


宇都宮市立錦小学校 第5学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	「エネルギー」を柱とする領域	58.3	47.8	45.3
	「粒子」を柱とする領域	74.3	64.9	63.6
	「生命」を柱とする領域	86.5	78.2	76.8
	「地球」を柱とする領域	75.8	69.5	68.1
観点	知識・技能	77.2	70.8	69.5
	思考・判断・表現	71.9	60.5	58.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
「エネルギー」を柱とする領域	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の正答率を上回っている。 ○簡易検流計の針のふれる向きが電流の向き、針のふれ具合が電流の大きさを表すことを理解しているかどうかをみる問題では、正答率が44.2%で県より20.5ポイント高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電流の性質に関する事項は、どの問題も正答率は県より高かったものの、十分習得できていなかった。実験する時間を十分確保し、電流の性質が理解できるようにする。また、実験器具の使い方についても、身に付くように指導していく。
「粒子」を柱とする領域	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の正答率を上回っている。 ○熱気球がうかび上がるしくみは、あたためられた空気の性質を利用していることを指摘できるかどうかをみる問題では、正答率が69.2%で県より20ポイント高かった。 ○ボールに空気を入れるとはずむ理由を説明できるかどうかをみる問題では、正答率が75%で県より13.3ポイント高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●空気や水の性質については、経験上理解していることも多いが、実験して新たに分かったこともしっかりと習得できるように、授業での考察の他に、自主学習で調べ学習をする等、より理解が深まるよう指導する。
「生命」を柱とする領域	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の正答率を上回っている。 ○サクラのようすがどのように変化するかを理解しているかどうかをみる問題では、正答率が76.9%で県より19ポイント高かった。 ○腕を曲げたときの筋肉のようすを理解しているかどうかをみる問題では、正答率が88.5%で県より14.5ポイント高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●植物の観察やヒトの体の動きを観察するなど、できるだけ体験を伴う活動をこれからも取り入れていく。 ●筋肉の表面的な動きだけでなく、体の内部の動きなどを学習する際には、タブレット端末を活用して理解の定着を図る。
「地球」を柱とする領域	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の正答率を上回っている。 ○調べてわかったことから、土の粒の大きさと水のしみこみややすさの関係を読み取れるかどうかをみる問題では、正答率が71.2%で県より13.4ポイント高かった。 ●月の動き方と動く向きを理解しているかどうかをみる問題では、正答率が63.5%で県より7.1ポイント低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学区内では、夜空が観察しにくい児童も多いので、休日の宿題で月の観察を取り入れるなどして、意識して観察をする機会を設ける。また、観察ができない場合でも、タブレット端末を有効に活用して月の動き方を指導していく。